

プロジェクト通信No7

令和5年11月6日 発行

雇用促進 就労定着 project

今年度の福祉サービス事業所訪問は、福祉サービス・企業双方のニーズに合わせ不定期で開催しております。

第4回目は「ちあファクトリー」です。

若い利用者さんが多く、活気あふれる活動でした。圧縮機の操作や梱包を利用者さん同士が行っている様子を見学し、想像していた以上の内容を任せられていることに企業の方が驚いていた見学会でした。



令和5年度求職者支援メニュー

はじめの一歩を ふみだそう!

作業の様子に興味津々に見学する企業の皆さん



今回のプロジェクト担当企業

帯広ガス 広瀬さん・JA 上士幌町 西さん
ごうかく 高島さん



得意なことがわかりません。前の仕事では人間関係に悩んでいました。

自信がないのが伝わってくるので、沢山の経験を積むと良いですね。相手のことをしっかり見て話せるし、笑顔が良いので、周囲の人が目をかけたいくなる雰囲気を感じます。

一般就労を目指しています。企業はどんな人を必要としていますか？

仕事は働きながら覚えていけるように企業が教えていけます。そのために、毎日出勤できること、素直で元気で明るい挨拶ができることが基本だと考えます。



年内の就職を目指しています。今までの経験から、働いたときに周囲からどんな目で見られているか心配です。

働く前に、得意なこと・苦手なこと・配慮を受けたいことなどを企業に伝え、理解してもらったうえで働く事が出来ると安心感が持てるかもしれませんね。そのためにも、手帳の取得は配慮の裏付けになります。

今回の見学は、企業側の人材開拓と福祉側の利用者のモチベーションへの働きかけの希望が合致し行いました。

漠然と「働きたい」と思う利用者さんの声は聞きますが、背中を押そうとすると「まだ早い」「不安がある」と一歩が踏み出せない方が多いのが現状です。何が身につくと就職に向かえるのか、何が解消されると不安がなくなるのか、考えるきっかけが必要だと感じます。企業の方が事業所に来てくれること、自分たちの悩みや疑問に答えてくれることをチャンスと感じてください。自信のない人・うまく話せない人・緊張してしまう人・・・きっと皆さんに勇気もらえる時間になるはずですよ。

福祉サービス事業所の皆さん、

プロジェクトの活動をぜひ活かしてください

